

追分地区・鹿公園

雪と影が創り出すアート



12月中旬、雪の積もった鹿公園へ。池に氷が張り、その上に雪が積もると池全体が大きなキャンパスのようになります。その上に動物の足跡がついていたり、木の影が写り込んでるのがアート作品のように見えます。

時間帯や日差しの強さ・角度によって木の影の見え方が違っていたり、夕暮れ時は白いキャンパスがオレンジ色に染まることも。

動物の足跡は、この日はキタキツネだと思われる足跡の

みでしたが、エゾシカやエゾユキウサギ、エゾリスの足跡など、複数の足跡がついていることがあります。

日差しを浴びてキラキラと輝く雪もとても美しいです。雪が積もると外に出る機会が減ってしまいがちですが、たまには公園などに散歩に出かけ、雪景色を楽しんでみてはいかがでしょうか。

【撮影・文】

地域おこし協力隊 木下

足跡も轍もない道

地域おこし協力隊 木下 知佳



あけましておめでとうございませう。この年末年始も3年連続安平町で過ごしました。

12月はそれほど雪が積もることがなかったため、例年より写真を撮りに行くチャンスを作れました。とはいっても、軽く吹雪いている時にも撮影に出向き、雪が積もったばかりの真っ白な道路を撮影。

この足跡も轍もない道を最初に通るのがなんだか嬉しくなるのですが、運転するのはとても危険ですね。

任期終了まであと3か月ほどとなりましたが、本年もよろしく願っています。

広報あびら 編集者コラム vol.32



あけましておめでとうございます (10回目)

総務課情報グループ 小林 誠

せっかくなら「干支を一周するまで担当だと良いな」なんて思っている小林です。

今年は卯年なので、表紙は町内で撮影したエゾユキウサギ。日本にいる哺乳類で一番の走力とされ、その速度は時速80キロとか。そんな生き物だっけ知っていましたか？

「自然が豊か」とはよく言うものの、自然を知る機会が少ないんだよな。ネイチャーガイドを務めたりすることもあるほど自然大好き人間なので、そんな自然に関するコンテンツも作り出せたらと思って数年が経過。他の業務とのバランスを考えながら何か形にできたら良いな。

